

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成17年11月17日

No.1541

超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第2690地区ガバナー 延原 正

△事務局▽
島根県出雲市平田町 2280-1
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久
幹事 内田節夫 会計 加藤 昇

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1541回	持田稔樹会員	新入会員スピーチ
第1542回	風土記の丘館長 本間恵美子様	
第1543回	18:30~ ホテルほり江	忘年例会

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
50	39	11	78.00	—

欠 席 者 黒田・大谷・内田・堀江・田中浩・西谷・石原恵・吾郷・山根・三代・園山
M U 11/12・13大谷・内田(岡山・地区大会)
11/13大島卓・加藤喜・荒木・恒松・楨野・黒田・渡部・松浦・高砂(岡山・地区大会)

幹事報告

1. 延原ガバナー・江草安彦地区大会実行委員長より大会参加のお礼状をいただきました。
2. 11/18(金)岡山国際交流センターに於いて、地区雑誌委員長会が開催され、伊藤雑誌委員長出席致しました。
3. 大島直前ガバナー補佐へ感謝状が渡されました。(地区大会)

ス マ イ ル

大島卓 皆様のおかげで2690地区より感謝状までいただきました。ありがとうございます。

恒松 松本華奈さんが東京国際マラソンに出場します。

常松 混声合唱団「クリスタルコール平田」の定期演奏会、無事終了しました。

CD、チケット、ご来場のご協力に感謝して。

佐々木 本日は、出雲空港での消火救難訓練のため、お先に失礼いたします。

12月1日例会受付当番

佐々木 哲也・加藤 喜久・木佐 彰三

★松江南クラブ(月)

★出雲中央クラブ(月) 11/28

★松江しんじ湖(火)

★出雲クラブ(火)

★松江クラブ(水)

★大社クラブ(水)

★平田RAC(第1・3水)

★松江東クラブ(木)

★出雲南クラブ(金)

副会長挨拶

先日、岡山市の岡山ドームで開かれました第2690地区の地区大会に参加されました皆様お疲れさまでした。

大会にはR I 会長代理が出席されました。会長代理は横浜R Cの上野孝氏で1944年生まれで私より2歳も若くびっくり致しました。

上野会長代理のあいさつの中で印象に残ったものをご紹介します。

ステンハマー会長は今年度の重点推進項目を4つ挙げられておりますが、その中の一つの「水の保全」に関しまして、日本が世界中で一番水を大切にされた文明・生活様式を持ち続けていることを詳しく語られ、日本のロータリアンは世界のロータリアンに対し「水の保全」という面で独自の視点で発信することが重要で世界に貢献できる道ではないかと話されました。

地球は「水の惑星」といわれていますが、坪田愛華さんの「地球の秘密」10,000冊を今回私達平田R Cがモンゴル国の子供たちに贈りました事業は大変に国際ロータリーからみても意義深いものだったとの思いを一層強めました。

今回の地区大会の会場に地区内全てのクラブの活動状況のパネルが展示してありましたが、我が平田R Cのパネルがズバ抜けて印象に残ったと思ったのは私一人ではないと思いました。

新入会員スピーチ

持田 稔 樹

私は昭和33年生まれ47歳です。父は昭和5年、母は6年、妻は35年生まれで伊野から嫁にきました。

子どもは3人です。趣味は、パソコンやDVDで映画・音楽鑑賞です。また5年前から安来節の唄を習い、現在3段で、准師範に挑戦中です。

私は19歳のとき大工の見習いで京都に行きました。その時は数奇屋風の建築に携わり茶室など手伝っていました。その職場で、奈良の薬師寺に行き、西塔の建立を見学した時は、ものすごく沢山の用材と、「槍鉋」と言う道具も見ました。槍鉋で木材を仕上げると、ナイフで斜めに削ぎ取るように表面が滑らかで風雨に強くなり、建物の寿命が延びるそうです。その時の棟梁「西岡常一」さんのビデオが後に販売され、棟梁の言葉を今でも大切にしています。

【神仏を崇めずして伽藍社頭を口にすべからず】、「塔久美和 木の癖組み 人の心組み」今でも手帳に書いています。

この写真は、平田本陣記念館です。この建物の特徴の一つに、32cm角のケヤキの柱が自然石の上に乗っています。ちょうど京都に居る時に、茶室の仕事で同じような作業をしていたので、その応用で無事に木口加工が出来ました。

これは和風住宅ですが、現在は屋根に芝生を植えたり、シャープな建物だったり、「個性溢れる」住宅が増えました。

しかし、木材を使って住宅を建てる事は、自然を破壊する事に繋がります。だからこそ「長持ちする住宅」を作ることで、自然の保護に努めたいと思っています。またそれが「人にやさしい住まい」にもなります。木綿街道の建物の保存や、古民家の再生も同じく自然の保護になると信じ、今後の建築を考えて行きたいと思っております。

最後までご清聴ありがとうございます。御座いました。

